2015 年度 関西学院大学自己点検·評価 <A票>第三者評価結果 【総合政策研究科】

A-1. 理念、A-2. 目的、めざす学生像、学位授与方針

I————				
	「研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 学部の理念」に沿い、 めざす方向性を適切に表現しているか。			
【確認1】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名	•		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている・・・・・・・ 0名			
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	「研究科の目的(Web サイト上)」は、A-2「研究科の人材の 対して分かりやすい表現になっているか。			
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
【確認2】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 2名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 1名	・ 簡潔すぎるので、もう少し具体的に記載されることが期待されます。 (評価者 C)		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「研究科の人材のイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容	の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「研究科の目的(Web サ ぶとなっているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
【確認3】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている・・・・・・・ 0名			
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および	当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 1名			
【確認4】	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 2名	・「学位授与方針」で、例えば修士学位は「課程の修了要件を満たし」そのうえで「修士論文の審査に合格」することが求められています。学則では論文審査に合格することを含めて「課程の修了要件」と定められています。学則と整合的な記述にする必要があります。博士学位の授与に関しても同様です。(評価者 B) ・修士号の説明が簡潔で、学位授与基準としてより明確な記載が期待されます。(評価者 C)		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。			
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
【確認5】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 0名			
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されて	ているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
【確認6】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名			
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	適切性の検証体制を明確にしているか。			
【適切性の	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
検証体制】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名			

<A票>第三者評価結果【総合政策研究科】

	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・	0名		
	検証プロセスを適切に機能させているか。			
評価者による評価項目とチェックした評価者の人数評価者コメント				
【検証	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名		
プロセス】	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・・	1名	・学部自己評価委員での評価が、どのように課題の解決・改善へとつながるのかを示すことが望まれます。(評価者 A)	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・	1名	・検証プロセスは「機能させていない」ということですが、改善に向けた計画の「ある」、「なし」にチェックが入っていません。単なる記入漏れなのでしょうか。(評価者 B)	
【全体に対す	るコメント】			

A-3. 教育研究目標

	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、 相応しい内容であるか、適切な表現であるか。		
評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
1. 適切な自己評価がされている ····· 3名			
2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名			
3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。			
評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名			
3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
「教育研究目標」は、周知・公表されているか。			
評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 0名			
3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
適切性の検証体制を明確にしているか。			
評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名			
3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
検証プロセスを適切に機能させているか。			
評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
1. 適切な自己評価がされている ····· 1名			
2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 1名	・学部自己評価委員での評価が、どのように課題の解決・改善へとつながるのかを示すことが望まれます。(評価者 B)		
3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 1名	・検証プロセスは「機能させていない」ということですが、改善に向けた計画の「ある」、「なし」にチェックが入っていません。単なる記入漏れなのでしょうか。(評価者 B)		
	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		

A-4. 教育課程の編成·実施方針

	教育課程の編成·実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。		
【確認1】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	はに向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
【確認2】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 2名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 1名	・外国語運用能力・コミュニケーション能力・国際性の涵養の側面からの記載が期待されます。(評価者 C)	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内	容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
【確認3】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・	実施方針は適切な内容となっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
【確認4】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている・・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
【確認5】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	適切性の検証体制を明確にしているか。		
】 【適切性の	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
検証体制】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている・・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	検証プロセスを適切に機能させているか。		
【検証	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
プロセス】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 1名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 1名	・学部自己評価委員での評価が、どのように課題の解決・改善へとつながるのかを示すことが望まれます。(評価者 A)	

<A票>第三者評価結果 【総合政策研究科】

/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		U 1 4	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・	1名	・検証プロセスは「機能させていない」ということですが、改善に向けた計画の「ある」、「なし」にチェックが入っていません。単なる記入漏れなのでしょうか。(評価者 B)
 【全体に対す			

A-5. 学生の受け入れ方針

	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
【確認1】		2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・・	1名	・学生の受け入れ方針は、前期課程と後期課程とで分けて記載することが望まれます。(評価者 B)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・	0名	
	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を	を踏ま	え、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしてい
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
F=+-=-0.1	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名	
【確認2】	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・・	2名	・入学時の知識等の水準に関して、前期課程と後期課程とで分けて記載することが望まれます。(評価者 B) ・大学の強みや特色を踏まえた必要とされる能力とその評価方法・その比重など、習得能力のレベルの具体的記載があれば、よりわかりやすいと思われます。(評価者 C)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・	0名	
	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学	者選抜	の実施方法は整合性が取れているか。
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
【確認3】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・・	0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・	1名	・入学者選抜の実施方法が示されていませんので整合性の判断ができません。(評価者B)
	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
【確認4】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・・	0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・	0円	
	適切性の検証体制を明確にしているか。		
【適切性の	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
検証体制】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・・	0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・	0名	
	検証プロセスを適切に機能させているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数		評価者コメント
【検証 プロセス】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名	
) H L/\]	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・・	1名	・学部自己評価委員での評価が、どのように課題の解決・改善へとつながるのかを示すことが望まれます。(評価者 A)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・	1名	・検証プロセスは「機能させていない」ということですが、改善に向けた計画の「ある」、

<A票>第三者評価結果【総合政策研究科】

	「なし」にチェックが入っていません。単なる記入漏れなのでしょうか。(評価者 B)
【全体に対するコメント】	

A-6. 学生支援に関する方針

	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念	計制をは、計画を計画を計画を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を<!--</th-->	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
【確認1】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組	且みや体制を整備し、適切に運用しているか。	
	(下記のことが明らかであることに留意する。)		
	<修学支援> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処		
	・留年者及び休・退字者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施		
	・学生の能力に応じた補習・補允教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施		
	・奨学金等の経済的支援の実施		
【確認2】	<生活支援>		
	・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内		
	・各種ハラスメント防止に向けた取り組み		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている・・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組めているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
【確認3】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている・・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
【確認4】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている・・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
【適切性の	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
検証体制】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている・・・・・・ 0名		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名		
【検証	検証プロセスを適切に機能させているか。		
プロセス】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	

<A票>第三者評価結果【総合政策研究科】

1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・・・・・・	1名	
2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・・	1名	・学部自己評価委員での評価が、どのように課題の解決・改善へとつながるのかを示すことが望まれます。(評価者 A)
3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・	1名	・検証プロセスは「機能させていない」ということですが、改善に向けた計画の「ある」、「なし」にチェックが入っていません。単なる記入漏れなのでしょうか。(評価者 B)

【全体に対するコメント】

・周知・公表方法に関して、回答がされていません。適切に周知・公表する必要があります。(評価者 B)

A-7. 教員像、教員組織の編制方針

【確認1】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 0名			
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上におい 確にしているか。	・ いて、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
【確認2】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 0名			
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。	0		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
【確認3】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 0名			
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	適切性の検証体制を明確にしているか。			
【適切性の	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
検証体制】	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 3名			
	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・・ 0名			
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 0名			
	検証プロセスを適切に機能させているか。			
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント		
【検証	1. 適切な自己評価がされている ・・・・・・ 1名			
プロセス】	2. ほぼ適切な自己評価がされている ・・・・・・ 1名	・学部自己評価委員での評価が、どのように課題の解決・改善へとつながるのかを示すことが望まれます。(評価者 A)		
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない・・・ 1名	検証プロセスは「機能させていない」ということですが、改善に向けた計画の「ある」、「なし」にチェックが入っていません。単なる記入漏れなのでしょうか。(評価者 B)		